



現在の仕事内容を教えてください！

本社を奈良におき、保険会社を複数社取り扱う保険総合代理店を3代目の経営者として会社運営をしています。中立的立場で保険の仲介をする欧米の保険ブローカーを手本とし、1972年12月に奈良市で創業して今年で45周年を迎えます。創業者は私の父です。父は大学卒業後日産自動車に勤めていたのですが、より人と関わりたいという思いから、保険業界に転職しその後独立しました。今では国内社や外資系の特徴ある保険会社を複数社取り扱う保険総合代理店として、主に中小企業の外部の保険管理部門として、企業活動に伴う適切な保険手配・コスト管理、万が一の際の支払い業務のサポート、退職金や福利厚生制度の構築など幅広い経営サポートをさせて頂いております。

大企業であれば自社内で法務部や管理部など業務リスクに対する専門部署をもっているのですが、中小企業の場合は総務部が兼ねていたり、経営者自身がほぼ全ての決済者であることが多くそこには様々なリスクが存在します。ですので私たち保険総研は中小企業のリスク管理のプロフェッショナルとしてリスクを最小限に留める手段をアドバイスしており、この部分を私共では外部の保険管理部門と呼んでいます。また企業で働く従業員のライフプランや保険相談によるFPサポート、各種セミナーなど



でも行っており、企業及び企業で働く従業員の両面を様々なリスクからお守りさせて頂いております。また、7年前から官公庁向けサービスを始め、府県市町村や自治体の管財物件やイベント等のリスクに対して助言・アドバイス・保険手配を行っております。

保険を軸に様々な多角化を進めているのですが、まずはお客様が困っていることにフォーカスしそれが私共で解決できる問題なのか？又単に解決する上で私共の新しい付加価値をつけられるのかどうかで、新たに事業として取り組むかどうかを決めています。

何故今の仕事をしようと思ったのですか

創業者である父は、お客様や保険会社の方々に自宅に招きホームパーティーをすることが大好きでした。私が物心ついた頃には家族以外の方が自宅に居ることは珍しくなく、自宅に来て頂いた沢山の大人の方々と一緒に食事をしたり、時にはお酌をしたり、歌ったりダンスをしたり10代の頃からそんな経験をしていましたので、同年代の友人に比べると少し少なかった少年であったと思います。そんな中、色々な方々から間接的に保険の仕事や父の夢などを聞く機会が沢山あり、父を信頼してきている方々がたくさんいることを知りました。生活態度や躰など何かと厳しい父でもありました。が、男として又経営者として父を尊敬する自分があり、周りからのそういった声を聞いているうちに父の言葉も自然と心に入ってくるようになってきました。そんな少年時代を過ごした結果、自分も将来は父のようにお客様に人生に関わり、しっかりとサポートできる仕事に就きたいと感じるようになりました。最初の仕事先も自然と保険業界を選んでいました。外資系の保険会社に入社したのですが、入ってみて思い知らされたのですがこの業界は結

果が全てで自分に能力を付けなくて全く認められない厳しい世界だったのです。最初は全く結果が生まれませんでした。でもとにかく私は負けず嫌いだだったので、人の良いところはメモし真似をしました。そしてとにかく練習に練習を重ねました。中でもお客様をイメージしたロールプレイングは何回やったか分からない程です。ただ話す内容を練習するだけではなく、どのように自分はお客様に映っているのかを自宅の全身鏡を使ってチェックを重ねました。そんなことをしているうち段々と自分のスタイルが出来上がってきて、成績も始め営業成績もトップになりました。父と私のことをよく知っている人からは、決めたことは絶対諦めない性格はソックリだと言われます。私が東京で就職して2年経った頃、将来をどう考えているのか？保険総研に戻ってこないか？父からそんな話がありました。兄が既に保険総研に入社していたこともあり兄弟で同じ会社で働くことに少し躊躇したのですが、保険総研を奈良だけではなく関西全域や関東にも広げていく夢を語ると、父も非常に共感してくれました。それが決め手になり戻ることを決意しました。そしてもう一つの決め手は、幼いころから尊敬の念を抱いていた父と一緒に仕事してみたい、そんな想いでした。

現在の仕事での自慢話(最も成果が出た)した話を教えてください

自慢話になるかわかりませんが、とにかく私は人に恵まれていると感じています。プライベートでの友人もそうですが、一緒に働くスタッフ、お客様にも本当に恵まれているのを感じます。保険総研では、「チームがスター」という言葉を社内の掛け声にしています。これは私が名づけた言葉なのですが、チームとは組織、スターは光り輝く星。光輝く人が集結し、力強い組織をつくる。そんな想いを込めた言葉なのです。保険の仕事は個々の営業スタイルで個々の成果による評価で仕事をされていることが多いのですが、保険総研では組織プレーをモッ

保険という仕事を通じてお客様である中小企業の経営者のお悩みを聞く機会が多々あるのですが、決まってお悩みは共通「ヒト・モノ・カネ」の3つなのです。また中小企業の経営者の優れているところは責任力・決断力・実行力です。そこで、共通した悩みを少しでも解決できないか？より中小企業が強く豊かになれるか？と考え、異業種の協同組合「ビジネスバンク協同組合」を立ち上げることを決意しました。中小企業は専門的な業務により事業を行っており、大企業のようにあらゆる業務の集団ではありません。そのため事業の拡大もなかなか思うようにいきません。そこで、お金が行き渡るように流通するように各組合員企業の専門的な知識等が協同組合を經由して活用されることにより、それぞれの組合員企業の事業発展に補填されるのの思いから「ビジネスバンク協同組合」の名称にし、2016年7月に設立致しました。末廣社長にも、この想いに賛同頂きまして理事として一緒に活動させて頂いております。

ビジネスバンク協同組合を通じて何を実現したいですか

ビジネスの繋がりを大切に、カタチにとられない組合を目指しています。現在は、1.福利厚生、2.教育・情報提供、3.共同購買、4.共同宣伝の4つの事業を柱としておりますが、時代の変化に適切して経営者のお役にたてる協同組合事業を提供して参りたいと考えています。また、魅力ある元気な会員企業を増やして、活気があり質の高い組織運営をしていきたいと考えていて今は大阪・関西を中心に事業を行っておりますが、全国に展開していきたいように現在足元を固めています。

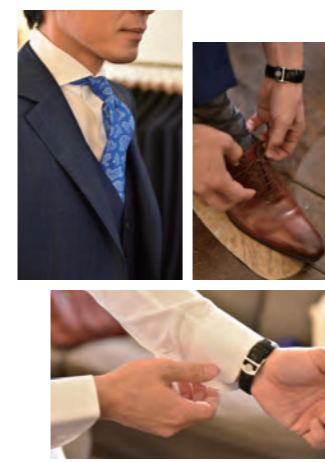
お客様から聞いた嬉しい声やお客様の幸せエピソードがあれば教えてください！

私共では年2回お客様向けに保険総研ナビという情報誌をお送りしています。いろんな地元の名産名産の対談や最新のニュース、新卒や中途社員

トーに仕事を組み立てます。個々の能力のみに頼らず、コンサルタントとそれを支えるアシスタントが一緒になってお客様をお守りするスタイル、チームでの目標数値の共有などを図っております。人数や支店も増えてきた時に、なんかキャッチできる名前をつけたいと考え、「チームがスター」が出てきました。「一人一人がスペシャリストを指しお互いを高め合いそしてお互いを補い合う精神」一人で仕事をしていくのではなく、チーム(組織)で質の高い仕事をしていく、そしてもっともつとワクワクする価値の高い仕事を目指していく、そんな雰囲気当社にはあります。それが一番の自慢です！

現在の仕事での失敗談を教えてください！

20代のまだ若く私が営業現場で保険コンサルタントをしていた時の話です。開業医のドクターご一家の生命保険の見直し提案をさせて頂く機会があり、既存の加入の保険会社、某外資系の保険会社のコンサルタント、そして私の提案で3社から比較して頂きました。私としては他社に負けないように沢山の保険会社の中からベストな保険をチョイスしご提案させて頂きました。自分の提案に自信を持っていたのですが、結果、私の提案は却下され某外資系の保険会社のコンサルタントで決定されました。私としては、負けるわけがないと思っておりましたので納得がいかず、そのドクターの先生になぜ私の提案を受け入れてくれなかったか



紹介、お店紹介などを掲載しているのですが、その中でお客様アンケートを実施しています。良い点も改善点もお伺いしお客様の様々な声を頂き、出来るだけ早く経営に反映をしていく為です。

そんな中「電話した時の最初の対応がすごくアットホームで且つテキパキしている。」とか「初めて会社に訪問した時の対応が安心できた！」という嬉しいお言葉を頂きます。時には、名指しで〇〇さんの対応はすごくいいとか、赤ちゃんが生まれましたなど様々なコメントも頂くのですが、お客様との距離が非常に近く良い関係性を築けていることがすごく嬉しいですね。

仕事を通してどう在りたいですか？何を實現したいですか

お客様が何かお困りの際に、問題解決できる会社として保険総研が一番最初に頭の中に思い浮かんでくるような会社(存在)になりたいと思っております。そうだと！保険総研に相談してみよう！と。そこで保険に限らず、様々なリスクソリューション解決のできる会社創りをしたいと考えております。保険総研があれば安心と感じて頂き、お客様に寄り添い、お互いに信頼できるような関係になれるようにこれからも頑張っていきたいと思っております。



株式会社保険総合研究所

代表者／代表取締役 清岡義教
 本社／〒630-8014 奈良県奈良市四条大路2-2-12
 支店／大阪・東京・京都
 TEL／0742-33-2377
 設立／昭和47年12月 従業員数／35名
 URL／http://www.hokensoken.com(紹介動画上映中)